

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス このまなび		公表日		令和8年 2月 16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・既存の建物を利用している為、十分ではないが、手を加えて改善、工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・常に定められた以上の職員を配置している。	●足りなくなることも予想される。 ○利用者の状況により職員配置数を増やしていきけるよう検討する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	・室内は段差が少ないため、転倒の可能性は低いと思われる。つ ・怪我防止のため机の角にクッションをつけるなどの工夫を行っている。	●入口階段のため改善が必要。車いすユーザーに対しての配慮がされていない。個室のためバリアフリー化が難しい。室内はフラットだが、玄関から駐車場までは段差がある。 ○自社所有の建物でないため、大幅なバリアフリー化は難しいが、できる限り工夫をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・職員と子どもたちで朝、夕掃除している。 ・生徒に掃除してもらったり、職員でも掃除している。 ・学習、余暇活動、休憩場所等活動によって過ごす空間がある。 ・朝のミーティング後の清掃と帰る前の生徒たちと清掃。	○今後とも環境整備をし、快適な空間を維持していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・体調や本人の希望等で職員と相談して別室を利用している。 ・別室で学習したい、過ごしたい等の要望があった場合は、別室に対応している。 ・クールダウンや学習に集中できるように配慮している。	○今後とも継続して環境を整えていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2		●振り返りをする時間が取れていない。以前はアンケート形式で定期的に行っていたので再開したい。 ○職員全体で目標を確認し、振り返りができるように体制を整えていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・日々の送迎時や面談等で聞き取りした情報を共有し、保護者の意向を把握するように努めている。	○今後は情報共有→改善策検討を職員全体で行えるように体制を整えていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・1日2回のミーティングを実施	○ミーティングで出た意見等を共有し、改善方法を検討していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		●第三者が介入している場面を確認したことがないので、周知する必要がある。 ○保護者と事業所職員の評価のみが必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部の研修に参加したり、事業所内研修を行っている。	●回数が少ないため増やしてほしい。また定期で行いたい。 ○今後は事業所内、外研修を増やしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・3ヶ月～半年ごとにご本人や保護者様のアセスメントを行い、個別支援計画に反映しています。	・生徒たちの要望を1つでも多く取り入れられたらいいな ・職員間で共通理解を行っているが、子どもの意見が最大限に尊重されているかは
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・共有されているが、もう少し話し合いに時間をかけたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		●情報共有ができていないので、共有する時間を作る必要がある。支援計画書の読み合わせをして共有することを再確認したい。 ○今後はこまめに情報共有を行い、支援体制を整えていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・毎月の活動を職員全体で考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・朝会時に確認している。 ・朝、夕の1日2回のミーティングを行っている。	・日によって差があるため日常化する必要がある。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・朝会時に確認している。送迎後に確認し、翌日の朝会時も再確認している。 ・毎日の申し送りでも共有できている。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1		○年1～2回ガイドラインの読み合わせを行っているが、日々の支援との組み合わせを確認して行っていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2	・毎日のスケジュールを利用者に組んでもらう。 ・支援者が判断し、一方的な介入にならないように心がけ、支援者同士で話し合っている。	●選択肢を与える工夫ができていないため、工夫する必要がある。できているようでできていない。職員からの情報の提供不足→職員の準備不足。 ○活動内容の自己選択など、自己決定する力を育てるような支援を行っていききたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		○管理者や児発官、担当者が参画している。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		○関係機関と適時連携を図っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・利用者が通学しているすべての学校と、連絡が取れるようにしている。	●やっつけているが、時々漏れがある。 ○保護者や学校より情報共有してもらい、適切に連絡調整を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		・対象者なし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		・対象者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		○今後は基幹支援センター等と連携し、必要に応じて研修等に参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・系列の保育園などと卒園式の花植えや初詣などの交流がある。 ・系列の事業所や保育園と交流する機会を設けている。	○地域や様々な関係機関の行事などに積極的に参加している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		○今後は参加する機会を増やしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・数は少ないが情報提供を行っている。	○外部での研修会の情報提供などを行っていく。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	・会議等で利用者も参加して、一緒に支援内容を確認したり、保護者に意向を確認してもらうなど機会を設けている。	●生徒本人が介入できていない部分がある。 ○今後も利用者も参加して本人や家族の意向を確認する機会を増やしていく。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・常に連絡が取れるようにし、連絡がきた際に迅速な対応を行っている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		○保護者同士が交流する機会を設けることができていない。 ○今後、取り入れていくことができるように努めていく。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・行事や活動を行った際に、報告書等を作成し公表している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・障害の種類に応じてホワイトボードやスマホを使ってコミュニケーションをとっている。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		○今後、取り入れていくことができるように努めていく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			●整備中のものもある。 ○今後、昨今の状況に応じた対応マニュアルを策定していく要諦である。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・保護者と情報共有しながら、適切な対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・定期的に避難訓練を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		○今後、共有・検討していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・研修参加や参加者からの情報共有をする時間を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		○契約時に保護者に向けて説明を行っているが、職員にもその内容を周知していく。